

小笠原小学校は**母校**です。

小学校時代の思い出 ～食べ物・飲み物編～

記憶がとても曖昧ですが…

○バナナが高級品でした。

家にバナナがあることで興奮しました。親の許可なく勝手に食べることなど恐れ多くてできませんでした。

…昭和38（1963）年にバナナは貿易が自由化され、安価で買えるようになりました。

○グレープフルーツに砂糖をかけて食べていました。

4年生ごろだったと思いますが、グレープフルーツを初めて食べました。

輪切りにし、グラニュー糖をかけ、先がギザギザのスプーンですくって食べました。

他のミカンなどと食べ方が違い、不思議に思ったことを覚えています。

…昭和46年（1971）年にグレープフルーツは貿易が自由化されています。



○20円のアイスに興奮しました。

低学年のころ、毎日10円のお小遣いをもらって近所の店でアイスを買うことが楽しみでした。

ある日のことです。そのアイスケースの中に20円の高級(?)アイスが入っていました。

10円のアイスを食べるのを1日我慢して、貯めて20円にして、そのアイスを買いました。

10円のは白一色(バニラ?)のアイスでしたが、

20円のは半分がチョコレート味になっていました。



○栓抜きがないとジュースが飲めませんでした。

瓶のジュースが一般的でしたので、飲むのには栓抜きが必要でした。

瓶のジュースの自動販売機があり、その自販機に栓抜きがついていました。



○缶ジュースは自分で穴をあけました。

缶ジュースには、今のようにプルタブ(ステイオンタブ)がなく、穴あけの道具が上についていて、それを使って2か所穴をあけて飲みました。

…理科で「空気と水」の学習をすれば子どもたちにもわかると思いますが、

穴を1か所あけただけではジュースが出てきません。

空気穴をもう1つあけることでジュースが飲めるのです。

生活の中でこういうことが実体験としてわかっていました。

これを使って穴をあけて飲みました



…今では、ツナ缶などの缶詰がイージーオープン缶になっていて、簡単にあけられるものが多くあります。子どもたちは、缶切りを使って缶詰をあけられるでしょうか。「栓抜き」と「缶切り」と「穴あけ」が一つになった道具(「三徳缶切り」右写真)をご存知でしょうか。どこの家庭にもあったように思いますが…。

